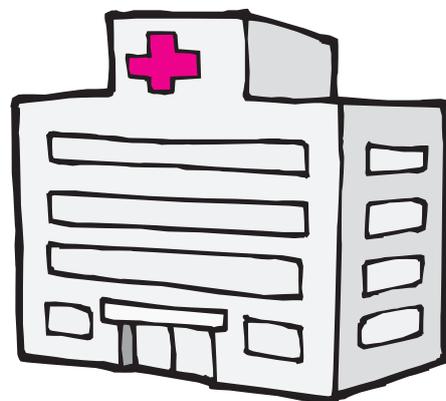


救急医療を考える

近年、医師不足による地域医療の崩壊や不適切な救急車の利用などが社会問題になっています。

今月号では、西胆振管内の救急診療体制を維持していくために、皆さんに協力していただきたいことなどをお知らせします。



救急診療体制の現状

西胆振管内は、総合病院など7カ所の基幹病院が地域住民の救急診療を担っています。

近年、医師不足が社会問題になっている中、わたしたちの住む地域では、ほかの地域で見られるような『タライ回し』もなく、地域の皆さんが安心できる医療を提供してきました。

しかし、全国的な医師不足問題はわたしたちの住む地域も例外ではなく、各病院は大学病院への医師引き揚げなどにより、慢性的に医師が不足しています。

そのような中、日中働いていて時間が取れない、混んでいて時間がかかるなどの理由から、休日や夜間の時間帯に受診するケースが増えています。このような受診ケースが増え続けると、重症患者への対応が遅れ、救命率が低下する恐れがあります。

また、救急当番の医師などは、翌日には通常診療を行うため勤務が過重となり、救急診療体制の維持が困難になってきています。

そこで、医師などの負担を少しでも軽減させ、救急診療体制を維持するために、わたしたち一人一人が病院受診のあり方を見直し、緊急性を考えた適切な受診を心掛けましょう。

救急当番医療機関からのお願い

- 日中に時間が取れないなどの理由で、夜間などに受診することは控えましょう。
 - 日中に症状がある場合、通常診療の時間帯に『かかりつけ医』などの医療機関で受診しましょう。
 - 夜間などに軽い症状がある場合、できるだけ翌日の通常診療の時間帯に受診しましょう。
 - 緊急性が低い症状（かすり傷程度のけが・風邪・歯痛など）の場合、救急車をタクシー代わりに利用しないようにしましょう。
- ※緊急を要する症状（意識がない・いつもと違う頭痛や腹痛がある・異物がのどにつかえた・骨折などの大けがをした・呼吸が苦しいなど）がある場合は、迷わず119番通報をしてください。
皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ご存じですか

北海道小児救急電話相談（無料）

お子さんが夜間、急な病気や事故で具合が悪いとき、家庭でどのように対処すればよいか、直ちに医療機関にかかる必要があるかについて、電話で看護師が助言、アドバイスを行います。

また、より専門的な知識を要するものは、小児科医が助言、アドバイスを行います。

電話による診断・治療はできませんのであらかじめご了承ください。

▶受付日時 月曜日～土曜日 19時～23時（日曜日、祝日、12月29日～1月3日を除く）

▶電話番号 011-232-1599（プッシュ回線や携帯電話からは、短縮ダイヤル『#8000』番でご利用できます）

※明らかに重症（呼吸や心臓が止まっている、大けがをしているなど）の場合は、直ちに119番通報をしてください。

▶問い合わせ 北海道医療政策課医療グループ
(☎011-231-4111)

登別・室蘭市内の救急当番医療機関

医療機関名	住所・電話番号
登別厚生年金病院	登別市登別温泉町133 ☎④2165
市立室蘭総合病院	室蘭市山手町3丁目8-1 ☎⑤3111
日鋼記念病院	室蘭市新富町1丁目5-13 ☎④1331
新日鐵室蘭総合病院	室蘭市知利別町1丁目45 ☎④4650
大川原脳神経外科病院	室蘭市寿町1丁目5-2 ☎④1519